

中小企業ぎふ

Vol.693

2024年11月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、組合・中小企業の変革・挑戦を応援します～



フロント前にあるからくり屋台「匠籠台」



株式会社ひだホテルプラザ

組合紹介 2～3

岐阜県鋳物工業協同組合

クローズアップ企業 4～5

飛騨高山旅館ホテル協同組合 組合員
「株式会社ひだホテルプラザ」

専門家コラム

「今をどう見る～生き残りツールとしての情報」 6～7

中央会の活動 8～12

- ・第76回中小企業団体全国大会(福井県)の報告
- ・理事会並びに役員交流会を開催
- ・組合魅力発信事業を開催
- ・各団体の活動報告
- ・ドローン活用セミナーを開催
- ・人材確保・定着支援事業「健康経営セミナー」を開催

組合等の活動 12～17

- ・岐阜県毛織工業(協) 産地就活ツアーを開催
- ・岐阜県広告美術業(協)
組合員らが「屋外広告物適正化旬間」に啓発活動として参加
- ・岐阜オートバイ事業(協)
県立岐南工業高校で二輪整備と交通安全に関する講座を実施
- ・岐阜県既製縫製(工組)
プロフェッショナルミシンオペレーター講座を開催
- ・岐阜県金属工業団地(協)
「金属団地ニュース600号創刊」とモノづくりPRイベントに出展
- ・岐阜県長良川温泉旅館(協) ファムトリップツアーを実施
- ・岐阜県眼鏡業(協) 「めがねを掛けた人」の似顔絵コンテストを実施
- ・岐阜県菓子(工組) ぎふの「芋・栗」おやつマルシェに出展

組合等の活動 12～17

- ・多治見陶磁器卸商業(協) 青年部
SPICE!CARNIVAL カレーと美濃焼とスイーツの祭典
- ・岐阜県製本紙工(工組)
尾張名古屋の職人展に組合が協力参加
- ・(協) 飛騨木工連合会 2024飛騨の家具®フェスティバルを開催
- ・下呂温泉旅館(協) 下呂温泉謝肉祭を開催
- ・岐阜県毛織工業(協)、岐阜県石油商業(協)
「はしまdeマルシェ」に出展
- ・岐阜県染色工業(協)、美濃和紙ブランド(協)
組合まつり in TOKYOへ出展
- ・陶磁器関連組合が東濃各地でイベントを実施
- ・岐阜県可児工業団地(協)
総務省の「地域デジタル基盤活用推進事業」に採択

全国の先進組合事例 18

- ・大阪内装材料協同組合

景況レポート 19

インフォメーション 20

- ・秋の叙勲・褒章の表彰
- ・可児市功労者表彰
- ・中央会新規採用のお知らせ
- ・DXについて知ろう

(公財)産業雇用安定センターからのお知らせ 21

令和6年度制度改正等の課題解決環境整備事業、 生成AI活用研究事業の紹介 22

組合紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



岐阜県鋳物工業協同組合

- 理事長 岡本 知彦
- 組合員数 21名
- 設立年月 1950年4月
- 住所 岐阜市朝日町6番地の2
岐阜鋳物会館内
- TEL 058-263-9307

環境対策、人材育成、価格転嫁への取り組みを推進

◆組合の歴史・活動

■設立77年の歴史ある組合



岡本理事長(左)と丹羽事務局長(右)

当組合は、県内の鋳物製造業者により、昭和25年に組織化され今年で設立77年を迎えた歴史ある組合です。

鋳物は素形材の代表的な製品で、金属を溶かして型に流し込んで作る

部品や部材のことで

す。素形材には、金属の他にもプラスチック、セラミックスなどの素材があり、熱や圧力を加えて作られた部品や部材は、自動車の部品や調理用・家庭用・医療用器具など、私たちの生活に欠かせないさまざまな製品に利用されています。その用途に応じて強さや硬さ、延性などの性質が異なり、また、摩耗しにくい、腐食しにくい、熱に耐える、振動を吸収する、削りやすいなど、さまざまな特徴が求められます。

素形材産業は、日本の製造業を支える重要なサポートインダストリーと呼ばれています。

組合は、当初、鋳物生産に必要な銑鉄の共同購買や資材の斡旋、鋳物製品の共同検査などが事業の中核でしたが、時代と共に共同購買事業の需要が低下していきま

した。そんな中、産業廃棄物の不法投棄が社会問題となり、組合員からも鋳造廃棄物（鋳物砂、鉄鋼スラグ等）の安全・適正・確実な処理への需要が高まりました。そのため、組合として、この環境変化に対応するため、組合事業として、この鋳造廃棄物処理に係る共同事業（鋳造廃棄物の共同処理斡旋事業）を実施することになりました。

■環境対策への取り組み

この事業は、組合員の鋳造廃棄物の処理業務を、組合が



産廃処理施設の視察

選定した産業廃棄物処理事業者へ委託する仕組みで、組合が手続き業務等を一括処理することで、組合員の負担軽減に繋がっています。処理事業者の選定にあたっては、組合の「安全・環境

委員会」が作成したチェックリストに基づき現地確認を実施しています。

岐阜県は、県条例により産業廃棄物排出事業者に対し、処理施設等の実地調査により委託先の処理能力を年1回以上確認することを義務付けています。

このため、組合は、鋳造廃棄物の適正処理を担保するため、処理施設等への実地調査を「安全・環境委員会」が中心となり、原則年1回、廃棄物の処理業者及び処理施設を対象に実施しています。

直近の令和5年度に組合が斡旋処理した鋳造廃棄物は1.6万トン。安全・環境委員会が実施した産廃業者、処理施設への現況確認は、全7日間で16施設（中間処理施設、最終処分施設、収集運搬業者）を対象に実施しました。

組合は、安全・適正・確実を担保する重要な役割を担うとともに、業界の地位向上に取り組んでいます。

■人材育成への取り組み

組合は、人材育成への取り組みの一環として、国家技能検定「鋳造技能士」の育成に注力しています。

職業能力開発協会へ協力する形で、組合が鋳造・金属溶解職種の技能検定試験の実技試験会場の運営等を担っています。



技能検定試験の様子

実技試験の会場は、岐阜県で鋳造の技能検定が始まった当初から組合員が提供しています。また、組合の「技術委員会」を中心に職業訓練指導員の有資格者が試験の監督員を担当しています。

令和5年度の試験は27人が受験し21人合格しました。

その他には、組合員の従業員を対象とした技能検定試験に関する講習会、組合員を対象とした経営問題、労働安全等に係る研修会も実施しています。

講習会、研修会の開催にあたっては、組合青年部がサポートしており大きな戦力となっています。

■鋳物を身近に感じて貰う取り組み

鋳物をより身近に感じていただくため、子どもに鋳造を体

験してもらい取り組みを組合青年部が中心となり行っています。

これは、組合と(公財)岐阜鋳物会館との共催事業として、「ものづくり岐阜テクノフェア」、「国際たくみアカデミー 親子ものづくり教室」において、融点の低い金属を型に流し入れて造型しキャラクターメダルをつくる工作教室を開催しています。



工作教室の様子

①金属を溶かす、②鋳型への流し込み、③仕上げる、と鋳物が出るまでの工程を簡単に学べるのが特徴です。

参加した子どもたちは、自ら作成したメダルを嬉しそうに持ち帰っています。

また、「岐阜市歴史博物館 夏の子ども教室 青銅鏡を作ろう」にも協力しています。鋳造による銅鏡づくり体験を通じて、銅鏡をつくる時代から鋳造技術があったという歴史ともものづくりの楽しみを同時に味わってもらっています。

子どもたちには、鋳造業といった職業があることを認識してもらい、将来の「職業選択」を考える機会となることを望んでいます。

■適正な販売価格の実現への取り組み

全国の鋳物組合は、鋳物業界の全国組織である(一社)日本鋳造協会から、国の施策や全国の同業者の最新動向等の情報が提供されています。

その中には、下請代金支払遅延防止法(下請法)の運用基準が改正され、①労務費、原材料価格、エネルギーコスト等の上昇分の取引価格への反映について、価格交渉の場において明示的に協議することなく、従来どおりに取引価格

を据え置くこと。②下請事業者が取引価格の引上げを求めたにもかかわらず、価格転嫁をしない理由を書面、電子メール等で下請事業者へ回答することなく、従来どおりに取引価格を据え置くこと。といった行為が「買ったとき」に該当するおそれがあることが明確化されたといった情報も入ってきます。

鋳物業界も円安の影響等で、副資材・消耗品等が全て値上がりしています。そんな中、組合では、全国組織からの情報を得ながら、役員会で価格転嫁に関する情報交換を積極的に行っています。具体的には、価格変動分を上乗せして顧客に請求する「材料サーチャージ」の考え方、根拠資料の準備方法等の詳細な情報を組合員に積極的に提供することで、経営の最重要課題である価格転嫁を後押ししています。

◆組合が目指す方向性とは ■業界の安定した人材確保を推進する

鋳物業界も人材不足は年々深刻になっています。組合員の多くは、特定技能制度を利用して中国、ベトナム、ミャンマー、カンボジアといった国々から外国人材の受入を進めています。組合員により違いはありますが、各社の製造部門の従業員の1割程度は外国人材が担っています。

昨年、全国組織からの情報で、公正取引委員会が「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を出したこと、その目的が、持続的な賃上げを実現するため、その原資を確保できる取引環境を整備することにあることを知りました。

先に述べた、組合の「材料サーチャージ」の仕組みでも、労務費の転嫁は進めています。中々、顧客の理解が得られていないのが現状です。

人材不足に対応するためにも、適正な価格転嫁を実現する必要があります。

今回の指針で、価格転嫁への働きかけはしやすくなると考えています。今後も組合主導のもと、労務費転嫁を推進していかなければならないと思っています。

業界 知識

日本の鋳造とその歴史

鋳物の歴史は古く、紀元前4000年ごろ、メソポタミアで始まったと伝えられており、日本に鋳物技術が広まったのは、弥生時代前期末(前400年~前300年頃)と言われています。

そして、西暦550年頃に仏教が伝来し、寺院の建設が進みだすと青銅製の梵鐘(ほんしょう)や燈籠(とうろう)といった仏具、西暦600年頃に建てられた飛鳥寺には日本で初めての鋳物製の大仏「飛鳥大仏」が作られるなど、宗教関連の鋳物が作られるようになっていきます。

江戸時代には、鋳造技術はさらに高度になり、銅版や銀器の製造が進みました。

現代では、日本は高度な鋳造技術を持ち、自動車や電子機器などの製造に欠かせない技術となっています。



鋳物会館の梵鐘、灯籠

クローズアップ企業

飛騨高山旅館ホテル協同組合

株式会社ひだホテルプラザ

《企業概要》所在地 岐阜県高山市花岡町2丁目60番地
電話 0577-33-4600
代表 代表取締役社長 井ノ下 雄志
主な事業 ホテル業



「ひだホテルプラザ」外観

人と人とのつながり 「お客様、従業員、地域」を一番大事に

◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

◆創業52年、高山市初の大型観光ホテル



井ノ下代表

当ホテルは、昭和47年5月に現在の皆美館の場所に、当時の高山市としては初の大型観光ホテルとして開業いたしました。私の祖父は国府町で材木商を営んでいたのですが、父が昭和45年に始まった旧日本国有鉄道の大キャンペーン「Discover Japan」による国内旅行ブームの到来を

予期して、この地でホテルを開業したのが始まりです。とはいえその前身が材木商でホテル経営のノウハウもないままの開業だったため、最初は随分と苦労したようです。そこで父は同郷の知人で、当時東京の会員制ホテルである「東京アメリカンクラブ」で支配人を務めていた堀泰則氏（先代社長で現会長）を迎えて、営業を任せただけでようやくホテル経営が軌道に乗ったと聞いております。

その後、増え続ける団体旅行客などに対応するため、昭和60年には東館を増築し創業時からあった南館と通路でジョイントしました。また、平成9年には東館に隣接する喜多館が完成。更に平成15年には、築30年を超えた南館を取り壊し、新たに皆美館タワーが完成したことで、全館合計217室、638名収容の現在の形になっています。

また、平成19年には温泉の掘削を開始し、翌20年には自家源泉となる、飛騨高山温泉「飛天の湯」として利用を開始し現在に至っています。

◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

◆地元へ根付いたホテル

近年、高山市内では、インバウンドブームに乗って大手外部資本のホテルの進出が相次いでいますが、当ホテルは高山市内の大型観光ホテルの中では数少ない、地元資本と人材による、飛騨高山の地に根付いたホテルと言えます。

東京のホテルで働いた私の経験からすると、当ホテルは田舎ならではの特徴なのでしょうが、お客様とスタッフとの距離感がとても近いように感じます。また社内も、創業当時の家族的経営が引き継がれ、私自身が望んでいたアットホームな温かい雰囲気の企業であると思います。現在取り組んでいる最

中ではありますが、働きやすい環境づくりとして、スタッフの声をよく聞き、業界内の話題に耳を傾ける、社会情勢の変化に常に目を向けるといったことに気を配っています。

実際にスタッフは、素直で純粋な方が多く、そういった姿勢がお客様に伝わり高く評価されていることが自慢です。根本には、高山の地域性も関係しており、お互いさまの精神や助け合いの精神に基づく思いやりがあるからではないでしょうか。昔から高山の人たちは旅行者に優しいです。それは地元の人からすると、わざわざこんな遠くまで来てくださったという思いもあったからだと思います。

◆お客様と接すること

株式会社観光経済新聞社の「人気温泉旅館ホテル250選」に通算5回以上選定され、同社から「5つ星の宿」に認定されていますが、これもスタッフが普段からお客様だけでなく、添乗員やバスの運転士等、誰にでも分け隔てなく丁寧に接してくれていることが評価に繋がっていると思います。接客に当たっては、お客様が何を望んでいるかを察知することが大事であり、こうした姿勢や能力は年1回のサービス研修の他、普段の業務の中でも身につけるよう指導しています。当ホテルでは、フロントの前に展示してある祭りの屋台の前で写真を撮影するお客様が多いのですが、お声がけをしてシャッターを押すようにしています。



人気温泉旅館ホテル250選

接客とは、常にお客様の立場になって考え接していくことが大事だと思います。当ホテルの強みとして、従業員すべてが「お客様のため」という思いや価値観を共有しているため、会議で色々な意見が交わされても、ベクトルは常に同じ方向を向いています。

最近のホテルでは、人手不足のなか生産効率を上げるため、到着されたお客様の荷物を持ってお部屋までの案内を無くしたり、夕食提供を無くし朝食提供のみとされるホテルが増えてきました。しかし、私たちは、出来る限りお客様との接点を多く作ることで、ニーズを察知し、笑顔を共創する事を大切にしています。自分の現場経験からも、それが働き甲斐につながると信じています。

◆個室温泉付きの特別室をオープン

当ホテルの自家源泉は衛生面を考慮してろ過殺菌のうえ利用しています。また、今年の8月には個室温泉付きの特別洋室を3室オープンさせましたが、タワーの有る外国のお客様やプライバシーを気にされる方、家族での入浴を希望される方などのニーズに応えたもので、お客様の声によっては更に増室も考えています。高山

市街地の自家源泉の有る宿泊施設では、こうした個室温泉の付いたお部屋を持っているところは数少ないと思います。飛騨には下呂温泉と奥飛騨温泉郷という二大温泉地があるなかで、飛騨高山温泉も着実に認知されてきていると感じています。



個室温泉付「遊山工匠」OPEN

◎経営していく上で大切にしていることはありますか？

◆三つの方針と人とのつながり

経営していく上で大切にしていることは、やはり人と人とのつながりです。お客様、従業員、地域とのつながりを一番大事にしていきたいと考えています。

コロナ禍の際には、お客様が来て下さらない時間を活かして、施設の改修や全社で働き方改革に取り組みました。結果、補助金のおかげもあり、一人の従業員も解雇することなく乗り切ることが出来ました。業務の無駄を見直して生産性を高め、結果として従業員の負担を軽減出来たことは、大きな成果と感じています。また、観光客だけでなく従業員も感染を恐れて人との接触を避けていた頃がありました。医療用衛生関連商品を製造している地元企業の平和メディック株式会社が、少しでも観光客や従業員のコロナへの不安を払拭できるようにと、当組合員の全施設宛に大量のマスクを寄付してくださいました。異業種であっても、そこには飛騨高山という地域のつながりによる互いの強固な理解があった証だと感じています。

また当ホテルには、創業当時から、①お客様への奉仕、②社員の生活安定、③会社の繁栄という三大方針があります。①に関しては「何をお客様が求めているのか？我々はそれに求めているのか？ひだホテルファンづくりに繋がっているのか？」を常に念頭において判断しています。②については「働く環境の整備や、社員とその家族の生活を良くしていくこと」を目指し、業務の改善に取り組んでいます。また、③については「地域に必要とされて、社会に貢献出来ている企業であるか？」を自問自答して日々の業務を実践しています。

◎組合に期待することは何ですか？

◆組合員としてのメリットの創出

組合に期待することは、まずは、宿泊施設としての地位向上です。これまでも災害やコロナ禍のような有事の際に、行政への要望や陳情などを積極的に行っています。組合としてのスケールメリットを活かした活動が今後も大事になると思います。実際にコロナ禍の際には、組合の要望に応える形で、高山市も宿泊キャンペーンや割引等を打ち出してくれました。当組合だけでなく一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会等も一体となって取り組むことで、行政だけでなくJR東海や大手旅行エージェ

ントも動いてくれます。こうした組合としての強みをもっと組合員に訴えていく必要があると考えています。

また最近では、外部資本のホテルなどは当組合に加入しないところも出てきており、高山の宿泊業界としての一体感も失われ、共催イベント等を実施したりすることも困難になることが懸念されます。組合員としてのメリットをもっと多く創り出して、またそのメリットを組合員だけでなく外部資本のホテルにもアピールし、当組合への加入を働きかけていく必要があると思います。

◆後進への期待

理事長職を経験してみて思う事は、会社経営と同じで、これまで組合を守り続けてきた先輩方に感謝し、自身も同様の意思と覚悟を持って組合員の為に行動すること、そしてそれを次の理事長へ繋げていく、それが大事な使命だと考えています。

高山市内には、組合や協議会等の団体が多く存在していますが、当組合の理事長として、こうした30以上の団体から頻りに会議に召かれます。これも歴代の理事長が積み重ねてきた努力の結果が、当組合の立場を築き上げてきたのだと思います。また、個人としても、そうした場に参加することで、視野も広がり、新たな人とのつながりも増えるなど、本当に貴重な経験をさせて頂いていると思います。ですから、他の組合員にも理事長職を経験していただき、組合や業界全体の意識向上に繋がればと思っています。

また、他団体と協調して、それぞれの強みを活かした、今以上のまちの魅力を作り上げていく事が大事だと考えています。

◎御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

◆地域に愛され、必要とされる、ここにしかないホテルを目指して



地産地消への取り組み

高山市内にはここ数年で外部資本による大きなホテルが乱立しています。そういった企業の資金力には到底かないません。しかしながら、そうした事実は認めながらも、当ホテル

独自の良さを打ち出していき残っていく上で必要であると考えています。飛騨へ来られたら飛騨の食材を食べて頂くなど、独自性のあるホテルにしていきたいと思っています。

地元資本の大きいホテルは当ホテルだけになってしまいました。地元の皆様からの応援もあり、スタッフと知恵を出し合って独自性を、飛騨高山らしさを追求しているところです。幸いスタッフには恵まれており、ハード面でもお客様のニーズに合わせた客室改装や老朽化した設備の更新等、補助金を活用しながら進めています。

歩みは遅いですが、一歩ずつ着実に歩を進めながら、どこにもあるホテルではなく、この飛騨高山にしかない、地域に愛され、必要とされるホテルであり続けたいと思っています。

【組合概要】

飛騨高山旅館ホテル協同組合

岐阜県高山市本町1丁目2番地 飛騨信用組合本町サテライト出張所2階

代表理事 井ノ下 雄志（株式会社ひだホテルプラザ）

組合員数：70名

主な事業：共同購買及び斡旋事業、案内所の管理運営事業

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興部までお知らせください。

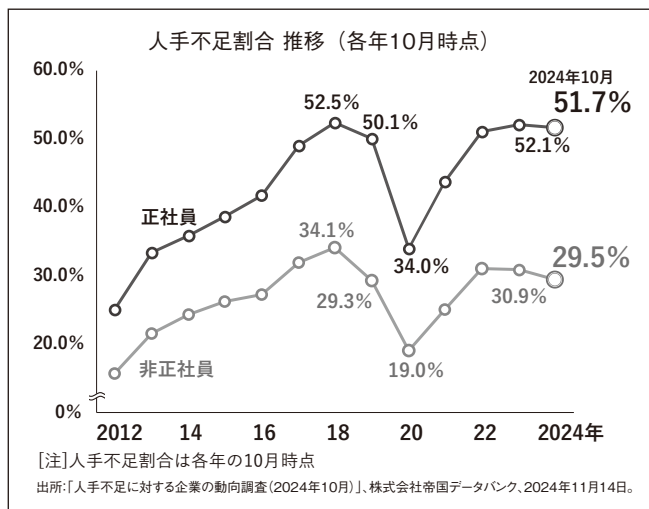
今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

人口減少と労働力不足がもたらす日本社会の課題

日本は現在、深刻な人口減少と労働力不足に直面しています。2023年の出生数は過去最少の約75万人にとどまり、死亡数は159万人を超えました。この結果、人口の自然減少は大阪府の人口に匹敵する規模の約83万人となっています。特に若年層の減少は今後も続き、経済全体に影響を及ぼしています。

産業活動が回復する中、労働力不足が顕在化し、中小企業の経営を圧迫しています。特に運輸、建設、介護といった分野での影響は大きく、社会全体の基盤維持にも支障をきたしています。人手不足の割合も、正社員が不足している企業の割合は51.7%、非正社員における人手不足割合は29.5%と高い水準が続いています。こうした厳しい状況から、2023年には労働力不足が原因の倒産件数が260件に上り、2024年も10月までですでに287件を記録しており、その深刻さがうかがえます。



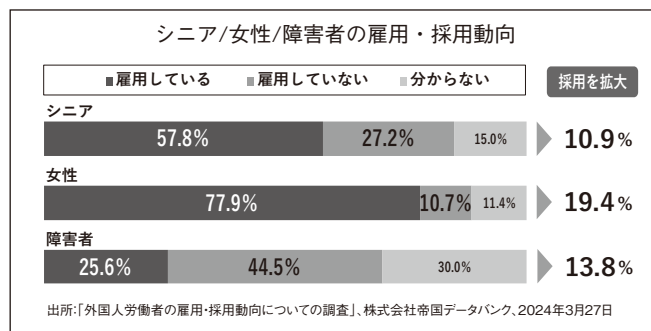
◆ 高齢者と女性の就業促進の現状と課題

労働力人口の減少に対応するため、これまで高齢者や女性の就業促進が重視されてきました。製造業における高齢就業者の割合は2002年の4.7%から2022年には8.6%に増加しました。しかし、団塊世代が70歳を超え始めた2017年以降、高齢者の労働市場への参加は横ばいになりつつあります。特に製造業では高齢就業者の確保が難しくなっており、今後は実数での減少も予測されています。

一方、女性の労働力活用は全産業で進展しているものの、製造業では停滞しています。2002年には403万人いた女性就業者は、2022年には312万人と大幅に減少しまし

た。また、全産業における女性就業者の割合は45.0%に達したのに対し、製造業では30%を下回っています。家事・育児の負担や賃金格差が背景にあり、製造業での女性活用には職場環境や勤務体制の改善が不可欠とされています。

ただし、いずれの産業、企業においても高齢者(シニア)、女性、障がい者の採用を積極化させており、採用を巡っての競争は激化しています。

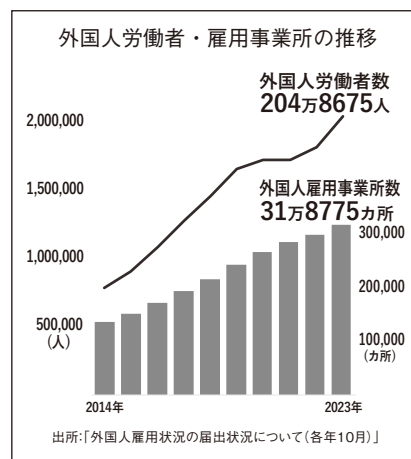


◆ 外国人労働者の役割と課題

労働力不足を補うため、外国人労働者の役割が増えています。外国人労働者数は2014年以降増加傾向が続いており、2023年には204万人を超す高水準に達しました。しかし、送り出し国である東南アジアの近代化や賃金上昇、円安の影響で、日本への労働力供給が減少する可能性があります。

政府は外国人技能実習制度を廃止し、新たに「育成就労制度」の導入を決定しています。また、特定技能制度を拡充し、2024年度から5年間で外国人労働者82万人の受け入れを目指しています。しかし、2030年には依然として63万人分の労働力が不足すると試算されており、外国人労働者の活用にも限界があるとされています。

すでに岐阜県内の製造業企業などに聞くと、これまで増加していたベトナム



ム人労働者が2024年に入って減少しているとの証言が得られました。政府は、今後、新たにインドなどから労働者の導入を試みる方針ですが、円安の継続や送り出し国での経済発展など、状況は厳しくなると考えられます。

◆ 高度外国人材の重要性

単純労働者に加え、高度な知識や技能を持つ「高度外国人材」の受け入れが進んでいます。これには、技術革新や海外市場開拓といった積極的な経済戦略が背景にあります。2020年時点で約33万人の高度外国人材が在留しており、日本企業の国際競争力向上に寄与しています。

政府は優遇制度を導入し、ポイント制で高度外国人材を優先的に受け入れています。また、2023年からは「特別高度人材制度 (J-Skip)」が施行され、より多様な分野での人材活用が期待されています。

企業としては、これまでのように単純労働に従事する低賃金労働者として外国人を採用するのではなく、日本人従業員と同等の雇用条件で、中核業務に従事する正社員としての採用が求められます。

◆ 外国人留学生の就職促進

外国人留学生の国内就職も重要な課題です。政府の目標により、2021年度には日本の高等教育機関を卒業した留学生の46.5%が国内で就職しました。山梨大学などでは、地域と連携して留学生の就職支援を行う取り組みが進められています。同大学と同様の取り組みは、全国で始まっており、岐阜県内の企業でも東海地区の大学など教育機関との連携が求められます。

◆ 今後の課題

人口減少による労働力不足への対応は、今後も日本の重要な課題であり続けます。高齢者や女性の労働力活用をさらに進める一方で、外国人労働者への依存も避けら

れません。しかし、外国人労働者の増加に伴い、労働環境の改善や日本社会への適応支援が必要です。

また、外国人労働者の受け入れに頼るだけでなく、企業の生産性向上やイノベーション創出が不可欠です。特に中小企業では、生産性向上を阻害している要因の解消が求められています。

新たな外国人雇用、特に高度外国人材に関しては、ジェトロ(日本貿易振興機構)が中小企業に対して幅広い支援を行っています。経営者としては、こうした支援制度の積極的な利用が重要となります。

労働力不足の解消には多くの課題が残っています。まず、人口減少がもたらす労働力不足はさらに深刻化すると予想され、国内市場の縮小や経済活動の停滞が懸念されています。また、外国人労働者に依存するだけでは、長期的な問題解決にはつながらない可能性があります。

特に、低賃金労働に依存する構造は、中小企業の実産性向上や近代化を妨げてきました。このため、外国人労働者を受け入れる企業側も、労働環境の改善や高度な技能を活かす業務への転換を図る必要があります。この点は、中小企業経営者も重視すべきだと思われます。

もちろん、経営者や企業にだけでなく、高度外国人材や外国人留学生の活用には、日本社会全体の受け入れ体制の整備が求められます。地域社会への適応支援や文化的な交流の促進も重要な課題となっています。また、外国人労働者、移民、難民の区別を明確化することや、不法滞在や犯罪者に対する国外退去などの厳罰化なども重要になります。一部において、難民受け入れを拡大解釈して、実際には単純労働者の受入れに繋げている事案も見られるようです。こうしたことは、将来的な大きな禍根となることは、先進各国の事例からも明らかです。

外国人労働者や高度外国人材を活用しながらも、日本社会全体がその影響を慎重に分析し、柔軟に対応していくことが今後の鍵となるでしょう。

外国人労働者、移民、難民のちがい

分類	目的	滞在期間	政府の保護	例
外国人労働者	就労	一時的・期間限定	保護義務なし	技能実習生や特定技能労働者、高度外国人材など
移民	定住・生活の改善	長期的・永住可能	国籍取得・社会統合が前提	移住先の文化や社会に統合することが期待される
難民	命の危険から逃れること	状況による	受け入れ国には保護の義務	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) が保護や認定に関与する場合が多い

※各種資料から作成



中村 智彦
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・愛知工科大学工学部 非常勤講師

【専門】 中小企業論・地域経済論

【略歴】 昭和39年 東京都生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 (学術博士・名古屋大学)

【活動】 総務省地域創造力アドバイザー・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長

東京都北区ネスト赤羽支援機能拡充検討委員会座長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー

ヤフー!ニュース <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamuratomohiko>

“つながる ひろげる 連携の架け橋”～幸せ紡ぎ 新しい未来へ 第76回中小企業団体全国大会（福井県）

全国中小企業団体中央会と福井県中小企業団体中央会は10月24日、「フェニックス・プラザ エルピス大ホール（福井市）」において「第76回中小企業団体全国大会」を開催した。全国から中小企業団体の代表者ら約2,000名が参集し、本会からは会員組合等から30名が参加した。

本大会は、中小企業者で組織する全国約3万組合等からの意見を踏まえた決議を内外に表明し、国などに対し中小企業が抱える課題への対応策と振興策の強化を訴求することなどを目的として毎年開催しているもの。

大会では、武藤容治経済産業大臣、福岡資麿厚生労働大臣からのビデオメッセージが披露されたほか、中村保博福井県副知事、西行茂福井市長、そして関根正裕（株）商工組合中央金庫代表取締役社長より祝辞が述べられた。

続いて、稲山幹夫福井県中央会会長が議長に就任し議事が進行され、「中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など14項目の決議案を上程。満場一致で採択された。続いて大会宣言、優良組合等の表彰が行われ、次回は広島県で開催することが発表された。



森全国中央会会長のあいさつ

●決議項目 詳しくは全国中央会のホームページからご覧ください。 (<https://www.chuokai.or.jp/index.php/10991/>)

I 中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充

1. 急激な事業環境変化への対応、経営課題解決に向けた支援の拡充強化
2. 成長促進、持続的発展に向けた支援の拡充強化
3. 中小企業団体中央会の支援体制・予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現、持続可能な地域振興

II 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 中小企業・小規模事業者の人材育成・確保・定着対策
2. 中小企業・小規模事業者者に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
3. 外国人技能実習制度から育成就業制度への円滑な移行の推進

III 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

●大会宣言（抜粋）

中小企業・小規模事業者の経営は、度重なる自然災害等の発生、エネルギー・原材料価格の高騰や賃金引上げに直面する一方、十分に価格転嫁ができない中、さらに、人手不足、賃上げ原資の確保に苦しむなど、極めて厳しい経営状況が続いている。その状況から一刻も早く脱却し、皆が幸せを実感できる社会の実現と中小企業組合が持続的に成長・発展できるよう、国等に対して、迅速かつ手厚い中小企業対策と総合経済対策を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、震災からの早急な復興、豪雨、地震対策の強化
- 一、適正な価格転嫁対策の推進と物価の安定
- 一、人材確保、生産性向上等、持続可能な成長支援策の拡充
- 一、事業承継円滑化のための対策強化
- 一、地域の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充強化

本日参集した一同は、厳しい経営環境を克服するために一歩でも力強く前進すべく、中小企業組合等連携組織の強みを最大限に発揮し、積極果敢に行動することを決意する。

●本県からの受賞者

【組合功労者】

- 吉田芳治 氏（岐阜県銘木協同組合 理事長）
- 瀬上達弥 氏（岐阜県電器商業組合 理事長）

来年の全国大会は、2025年11月12日(水)に広島県で開催する予定です。会員の皆様には多数の参加をお願いいたします。

理事会並びに役員交流会を開催

中央会は、理事会・講演会(トップセミナー)・役員交流会を11月5日にホテルグランヴェール岐山で開催した。

【理事会】

開会にあたり、傍島会長は、「中小企業は価格の高騰や人材不足に苦しんでいる。さらに国内外の政治の動きもあり、今後、経済や社会が大きく変わるかもしれない。また、中小・小規模事業者を取り巻く環境もどう変わるのか注視していかなければならない」とあいさつ。続いて議案説明に入り、令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)の概案について賛同を得たほか、新規加入組合、今年度の主な事業の進捗状況、令和7年度の通常総会日程等について報告を行った。



傍島会長あいさつ

<新規加入組合>

期間:2024年4月23日(前回理事会)~2024年11月4日まで
※()内は所在地、組合員数

【1号会員】 協同組合サンプルサン(関市、35名)

~記念式典の予定~

- 中央会創立70周年記念式典
令和7年11月7日(金) 岐阜グランドホテル(予定)
※組合功労者などの表彰のほか、記念講演会等を行う。

~理事会・通常総会の予定~

- 令和7年度第1回理事会
令和7年4月25日(金)
10:00~13:00
ホテルグランヴェール岐山
- 第70回通常総会
令和7年6月18日(水)
13:30~15:30
ぎふメディアコスモス(予定)

【講演会(トップセミナー)】

テーマ 「中小企業組合の今日的機能と役割」

講師 明治大学 政治経済学部 専任教授 森下 正 氏

森下専任教授より、「中小企業・組合が発展するためには、3つの視点、「共存・共栄」、「新陳代謝」、「順応」が必要である。

また、組合においても基本理念の構築は非常に重要。基本理念が明文化されており、組織全体への浸透に取り組んでいる組合は、明文化されていない組合と比べて、経済事業で約2倍の利益差が出ている。さらには、SDGsの取組を積極的に行うことで、新たな組合の目的・役割のみならず、従来からの目的・役割も同時に実現していくことにも繋がる」と事例を交えて説明があった。



森下氏 講演

【役員交流会】

古田岐阜県知事、兼松岐阜県商工労働部長など多くの来賓をお迎えして、役員交流会を開催した。

古田知事は、「中小企業の人手不足、価格転嫁、賃上げ、コスト上昇などの諸課題などに対して、県も共に考えている」とあいさつ。また、海外の政治・経済情勢などに触れながら「海外で岐阜県のお酒などの評価、人気の高さを再確認でき、心強く思う。また、韓国視察では、首都機能の移転が日本に先んじて行われているなど、変わりゆく韓国に感心させられた。」などと話した。



役員交流会での古田知事あいさつ

組合魅力発信事業を開催

中央会は、9月17日、10月7日、11月8日にかけて「組合の魅力発信に向けた動画作成・活用塾 ~SNS×ショート動画で組合の魅力を発信しよう!~」をじゅうろくプラザで開催した。

本セミナーでは、ショート動画に焦点を当て撮影、編集、活用方法をワーク形式で学ぶ内容となっている。第1回目は、「SNSマーケティングの「今」を知る」、第2回目は、「スマホを使った動画撮影と編集方法」、第3回目は、「ショート動画の試写会と意見交換会」のテーマで実施した。



参加者の様子

講師は、ITデザイナーの石井克成氏、株式会社ルンゴ 代表取締役 岡田庸平氏が務めた。

参加者からは、「動画の撮影と編集について実践的に学ぶことができ、為になる。他の参加者の意見が聴けるのもとても良い」と話があった。

第4回目は11月22日に開催し、「今後の活用法について話し合おう」をテーマにこれから「何を目的」に「どのようなテーマ」を発信していくのか参加者同士での意見交換会を行なう。

中央会活動

レディースクラブがしが中小企業女性中央会と合同企業視察を実施

県中小企業団体中央会レディースクラブ（谷田育子会長）は、10月2日にしが中小企業女性中央会と合同で企業視察を実施した。岐阜県から9名、滋賀県から9名の会員が参加した。

視察先は、織物工場の跡地を様々な作り手が集う場所に再生させた「ファブリカ村」代表の北川陽子氏の講話では、「培ってきたものを大切にしながら、進化させていく」マインドを学んだ。講話後のワークショップでは、工場で出た麻の端切れを活用した創作体験を通じ、アップサイクルを楽しみながら体感することができた。

視察後は懇親会を実施し、両県の交流を深めた。



ワークショップの様子

レディースクラブが「全国フォーラムin鹿児島」に参加

県中小企業団体中央会レディースクラブ（谷田育子会長）は、「令和6年度レディース中央会2024全国フォーラムin鹿児島」が11月7日に城山ホテル鹿児島（鹿児島市）で開催され、会員7名が参加した。

フォーラムでは、株式会社タイヨー 取締役副社長の清川照美氏による「奇跡を起こして人生と会社と立て直す方法」をテーマとした基調講演と、県内女性経営者によるパネルディスカッションが行われた。

フォーラム終了後には、交流懇親会が行われ、各県からの参加者と交流を深めた。



全国フォーラムの様子

青年中央会 ガヤガヤ会議及び懇親会を開催

県中小企業青年中央会（古田聡会長）は、組合青年部及び青年部員同士のネットワークの強化を図るため、10月3日にOKBふれあい会館で「組合青年部ガヤガヤ会議」を開催し、12名が参加した。

「ビジネスにおける話し方」をテーマに、合同会社YESプランニング代表の宇野悦加氏より講義を受けたのち、参加者は3グループに分かれ、自己紹介と、3分間スピーチを実施、交流を深めた。

講義終了後には、講師を交えた懇親会を開催し、会員同士のネットワーク強化が図られた。



ガヤガヤ会議の様子

県へ官公需に関する要望

中央会並びに岐阜県建設関連業団体部会（荒川晶一部会長）は、10月29日に岐阜県庁にて、「地元業者の優先活用と分離・分割発注の推進」や「資材・運搬費の価格高騰及び人件費上昇等への配慮」、「働き方改革に向けた適正な工期の設定」などの県の官公需に関する8項目の要望を行った。

中央会並びに同部会では、毎年「官公需フォーラム」を開催して県担当部局との懇談会を実施している。このフォーラムに先立ち、事前に35組合等の部会員から寄せられた意見を取りまとめ要望した。

当日は荒川晶一部会長と副会長5人らが、野崎県土整備部長、藤井都市建築部長、田口商工労働部次長、それぞれと面談。初めに荒川部会長より要望書の要旨を説明し、続いて荒川部会長及び副会長より県内建設関連業界の現状等を報告した。



野崎県土整備部長(右)・荒川部会長(左)

中小企業の官公需確保を目指しフォーラムを開催

中央会と岐阜県建設関連業団体部会（荒川晶一部会長）は、中小企業の官公需確保支援を目的として11月13日に「県官公需フォーラム」をホテルグランヴェール岐山で開催し、部会員21名が参加した。

県担当者との懇談会には、県担当者15名が出席し、井上副会長並びに県土整備部の飯島竜二土木技監があいさつ。続いて、事前に提出した要望に対する回答があった。

県議会幹部議員との懇談会には、水野正敏県議会議長、布俣正也厚生環境委員長、安井忠土木委員長、広瀬修教育警察委員長、猫田孝自由民主党岐阜県連会長代行（本部会顧問）が出席した。

部会員のうち9組合等が地元業者への受注機会の増大や、物価高騰や賃上げを踏まえた適正価格での発注、働き方改革を意識した工期設定等について直接要望し、出席議員より要望に対する所見が述べられた。



フォーラムの様子

ドローン活用セミナーを開催

中央会は、10月17日にドローンミュージアム&パークみの（美濃市）で「ドローン活用セミナー」を開催し、13名が参加した。

講師は同施設を運営する(株)ROBOZ代表取締役社長の石田宏樹氏が務めた。

セミナーでは、石田氏によるドローン操作実演やドローンを導入した事業者の活用事例、業界の最新動向等についての講演がなされた後、参加者全員が3種類のドローンの操作体験を行った。

石田氏は、「ドローンの進化により商用サービスや産業用ドローンの市場が年々増加している。国内においては点検や物流の分野での活用が多く見込まれる。また、ドローンに関する法施行や資格等は日々変化しているので、随時情報収集に努めて欲しい」と話した。



ドローンを操作する参加者

中央会④活動

人材確保・定着支援事業「健康経営セミナー」を開催

中央会は、10月21日にOKBふれあい会館において、「『健康経営』セミナー～従業員の“健康管理”を経営戦略的な視点で考え、人材定着につなげる～」をテーマとしたセミナーを開催し、10名が参加した。

講師は産業保健エンリッチ(株)代表取締役であり健康投資推進協議会 代表理事の豊田将之氏が務めた。

豊田氏は、「健康管理は会社の土台であり、社員の健康と安全を守り長く働けるための体制を整えることが健康経営である。健康経営を行うことにより、労災リスクや離職率の軽減、生産性の向上、働きがい・やりがいにつながる。働くすべての人が長く安定して働けるように、事業者は職場における労働者の安全と健康を確保してほしい。」と説明した。

参加者同士で健康経営に関して意見交換するグループワークも行った。



セミナーの様子

組合等④活動

産地就活ツアーを開催

岐阜県毛織工業協同組合（岩田孝司理事長）

岐阜県毛織工業協同組合は、毛織物産地「尾州」への就職を促そうと、8月26日に企業と学生のマッチングツアーを開催した。夏休みの期間に合わせて、県外の服飾専門学校生や市内高校の学生など32名が参加。参加者は一日かけて紡織、織り、編み、染色加工などを行う組合員等の工場を見学し、繊維企業のモノづくりの現場を体感した。

同組合山田専務理事は、「テキスタイルに興味がある学生たちが現場を知る機会。この先インターンに繋げてもらいたい」と話した。



マッチングツアーに参加する学生

「屋外広告物適正化旬間」に合わせて組合員らが啓発活動

岐阜県広告美術業協同組合（近藤潤理事長）

岐阜県広告美術業協同組合は、国土交通省が毎年9月1日から10日までを「屋外広告物適正化旬間」と設定していることから、県や市、警察と協力して、屋外広告物の適正管理の促進に向けた啓発活動を実施した。

岐阜市では近藤理事長を始め組合員9名が参加。2グループに分かれて安全な屋外広告の設置を商店主に呼び掛けた。

近藤理事長は、「看板の落下事故は、過去にも発生しており重大事故になりかねない。また、車道や歩道にはみ出す看板等は通行の妨げになる。広告物を設置するにもルールがあるので、それを遵守してほしい。」と啓発活動の意義を語った。

また、中津川市、美濃市、関市の商店街でも同様の啓発活動が実施され、各支部の組合員がチラシを配るなどの活動を行った。



啓発活動であいさつする近藤理事長(中央)

組合等活動

県立岐南工業高校で二輪整備と交通安全に関する講座を実施

岐阜オートバイ事業協同組合（兒玉健理事長）

岐阜オートバイ事業協同組合は、昨年に引き続き県立岐南工業高等学校 自動車工学科の1年生を対象に、9月2日に出前講座を実施した。

座学と実習で構成した本講座。座学では、交通ルールや危険予知、二輪車の構造などについての説明を行った。また実習では、生徒が実際に自動車の運転席に座り、運転席から自転車がどのように見えているのか、どのような動きが事故に繋がるのかなどを体験した。

講習の最後には、組合で準備した様々なタイプのオートバイを紹介。バイクに初めて触れる生徒も多く、エンジン音に感嘆の声が上がるなど盛り上がりを見せた。

兒玉理事長は、「業界団体として高校生に交通安全や二輪整備について話ができることに感謝している。将来にわたって交通事故にあわない、起こさないといった意識で過ごしてもらえれば。またオートバイの魅力が少しでも伝われば嬉しい。」と感想を述べた。



バイクに触れる生徒

プロフェッショナルミシンオペレーター講座を開催

岐阜県既製服縫製工業組合（野呂誠理事長）

岐阜県既製服縫製工業組合では、9月9日に各務原市のテクノプラザで「プロフェッショナルミシンオペレーター講座」を開催し、8名が参加した。

この講座は、中央会の組合等活動支援事業を活用して開催していたものを、近年では組合自ら開催している。

講座の講師は、日本洋裁協会理事長で「現代の名工」の佐藤順子氏や文化ファッション大学院大学名誉教授で「現代の名工」の稲荷田征氏（オンライン参加）等の多くの講師を招聘し、「薄物の難素材の対処」をテーマに、実演を交え縫製技術の指導にあたった。また、今回初めての試みとして講座の様子のオンライン配信を行い、6社がオンライン参加した。

参加者は「縫製する際の薄手生地を押さえ方など参考になった。今日学んだ技術を会社で共有したい。」と話した。今後、「くせとり（アイロン処理）の方法・きれいなシルエット」「異素材の組み合わせ」をテーマに2回開催される。



講師の技術を真剣に見入る受講生

「金属団地ニュース600号創刊」とモノづくりPRイベント出展

岐阜県金属工業団地協同組合（鈴木純一理事長）

岐阜県金属工業団地協同組合の会報誌『金属団地ニュース』が2024年9月に600号に達した。『金属団地ニュース』は、1974年9月の創刊号から月1回の発行を続け、50年間一度も休止することなく、創刊時の目的である“組合と組合員とのつながりを密にするためのパイプ役”を担い、読み応えのあるバラエティー豊かな情報を組合員に届けている。600号記念特集では、特に1社1頁を割いて全組合員の採用に関するデータ等を掲載し、採用活動にも役立つ内容となっている。

組合では600号記念特集と連動し、イオンモール各務原インターにおいて、9月18日から20日まで組合員を紹介するパネル展示、21日と22日には、青年部による小学生を対象にした世界に1枚だけのオリジナル名刺を作るワークショップ「メタルネームプレートづくり体験」を行い、多くの子供たちが楽しみながら金属団地の組合員ならではの技術に触れる機会となった。



会報誌「金属団地ニュース」
600号



ワークショップの様子

欧州からの個人旅行者誘客を目的に、ファムトリップツアーを実施

岐阜長良川温泉旅館協同組合（伊藤善男理事長）

岐阜長良川温泉旅館協同組合では、令和6年9月30日から10月2日の日程で、欧州（イギリス、ドイツ、ベルギーなど）より、旅行会社などの関係者6名を招いて、岐阜の魅力ある観光資源をプロモーションする、ファムトリップツアーを実施した。「ファムトリップ」とは、観光誘致を目的に、海外の旅行会社等の関係者に現地視察等してもらい、その内容を自国で情報発信し、プロモーションに繋げていく手法のことである。今回の取組みは、岐阜市においても増えつつあるインバウンドの中でも、特に欧州からの個人旅行者誘客を目的としている。

3日間のツアー行程では、鵜飼観覧、和傘や提灯への絵付け体験のほか、金華山への登山、岐阜城見学など、長良川温泉を中心とした地域の観光スポットやアクティビティを体験・視察した。



漁師によるアユ漁のレクチャー

「めがねを掛けた人」の似顔絵コンテストを実施

岐阜県眼鏡商業協同組合（宇佐見潤理事長）

岐阜県眼鏡商業協同組合は、メガネに親しみを持ってもらうために、「『めがねを掛けた人』の似顔絵コンテスト」を実施した。コンテストの実施は昨年に続き2回目の取り組みである。応募作品の審査は、当組合役員のほか、日頃から連携している岐阜県眼科医会、岐阜県立盲学校、視能訓練士会、視覚障害者支援施設、岐阜県中央会、その他関係者の協力を得て行った。入選作品は、新聞広告（中日新聞）に掲載され、最優秀賞・優秀賞・特別賞には、組合所属店で利用できる商品券が贈呈される。また、応募多数であったため、急遽、審査員特別賞も設けた。

コンテスト実施にあたって宇佐見理事長は、「似顔絵コンテストは好評を得ているので、今後も継続して実施していきたい。コンテストを通して、メガネの魅力を感じていただくともに、組合所属店を知っていただく機会になれば」と思いを語った。

詳細は当組合HP (<https://gifumegane.com/>) でご確認ください。HPではコンテストの情報以外にも、メガネに関するお役立ち情報等を発信している。



似顔絵コンテスト

ぎふの「芋・栗」おやつマルシェに出展

岐阜県菓子工業組合（澤田誠理事長）

岐阜県菓子工業組合では、10月12日から14日に、岐阜シティ・タワー43前広場「スクエア43」で開催された「ぎふの「芋・栗」おやつマルシェ」に出展した。

同マルシェには、岐阜県菓子工業組合が立ち上げた、「岐阜おやつ編集室」が企画から参加し組合員の和菓子店12店が出展した。

おやつ編集室ブースでは、イベントの目玉商品である、県内12の和菓子店の栗きんとんの食べ比べができる「ぎふの栗きんとんBOX」を3日間限定で販売し完売した。参加した和菓子店は、今年の5店から12店に増え、人気に応えた。

常川智子事務局長（編集長）は、「組合員は出店することで、他店の商品を知る機会や他店との交流の場となり、売り上げの手助けとともに、勉強の場となったこともこのイベントの成果」と語った。



スクエア43の様子



ぎふの栗きんとんBOX

SPICE ! CARNIVAL カレーと美濃焼とスイーツの祭典

多治見陶磁器卸商業協同組合青年部（水野孝耶会長）

多治見陶磁器卸商業協同組合青年部は、10月19日に多治見市本町の陶都創造館で、「SPICE!CARNIVAL カレーと美濃焼とスイーツの祭典」を開催した。当イベントは、陶都創造館周辺で秋のイベントとして、当組合青年部が主催して今回で6回目。多治見市周辺の有名店舗の6店スパイスカレーと、今年はスイーツ3店も加わり、1日限定のフェスティバルを行った。

会場では、今、イチオシの美濃焼カレー皿にスパイスカレーを盛り付けたポスターが展示され、訪れた客の目を引いていた。また、ステージでの音楽ライブで盛り上げていた。

当組合青年部の水野会長は、「当日は、多治見市内の方々だけでなく、遠方のお客様にもご来場いただき大変お喜びいただけた。来年以降も秋のイベントとしてオリベストリートを盛り上げたい。」と述べた。



イベント会場の様子

第39回尾張名古屋の職人展に組合が協力参加

岐阜県製本紙工工業組合（山本朗理事長）

岐阜県製本紙工工業組合は、10月19・20日に名古屋市のアオアシス21やNHKビルで開催された「第39回尾張名古屋の職人展」に出展した愛知県製本工業組合に協力参加した。

出展ブースでは、御朱印帳の展示、販売、作成の実演を行った。また、御朱印帳の作製体験も行い、参加者は組合員から作製手順を教わりながら、自分だけのオリジナルの御朱印帳を作製すると共に、製本の仕組みについて学んだ。

山本理事長は、「当組合では、イベント等に出展し、御朱印帳の作製体験などを行うことにより、組合や業界をPRしている。今回は、出展経験が豊富ということで、愛知県製本工業組合の出展に協力参加した。今後も、岐阜と愛知の製本組合同士の連携を深めていきたい。」と話した。



御朱印帳作りの様子

2024飛騨の家具®フェスティバル開催

協同組合飛騨木工連合会（白川勝規理事長）

協同組合飛騨木工連合会は10月19日から23日の5日間、「2024飛騨の家具®フェスティバル」を飛騨・世界生活文化センターをメイン会場として、また高山市・飛騨市内の各企業のショールームをサブ会場として開催した。

今回のメインテーマは、飛騨デザイン憲章第3条の「心の豊かさ〜こころ豊かに暮らす〜」とし、会場中央のテーマブースでは、高山陣屋に保存されている「樽(くれ)材」約600枚が使われ、飛騨に伝わる「樽葺き」の技術が紹介された。また、「ひだ広葉樹活用シンポジウム」をはじめ、10本を超える様々なトークショーも開催された。

メイン会場では恒例の「匠・DNA展」や「飛騨の工房家具新作展」の他、県内の企業が作るデザインに優れた家具・雑貨・生活関連用品をセレクトした「Gifu Select」のブースも設けられ、各社の提案型ライフスタイル商品が展示された。

同組合の袈裟丸専務理事は「大変多くのお客様にご来場いただいた。来年も飛騨の家具の良さを更に知っていただけるよう、見応えのある展示会を目指したい。」と話した。



メイン会場の様子

飛騨の味覚を満喫～下呂温泉謝肉祭 盛大に開催～

下呂温泉旅館協同組合（瀧多賀男理事長）

秋の味覚を満喫する恒例の「下呂温泉謝肉祭」が10月20日、下呂市の飛騨川河川敷で開催され、多くの来場者で賑わった。

「下呂温泉謝肉祭」は、下呂温泉旅館協同組合主催の秋の恒例イベントで、地域ブランドの一つ、飛騨牛に感謝しつつ、その味を多くの皆様に味わってもらおうと、2006年から開催しており、今回で17回目。メインは飛騨牛焼き肉、飛騨産こしひかりご飯、きのこ汁のセットで、一人前500円という破格値もあり、イベント開始前から場内に長蛇の列ができ、好天にも恵まれ、用意した2,500食分は完売になるなど大盛況となった。

また会場では「益田清風高校」の生徒が、飛騨牛などを使ったオリジナル軽食を振る舞い、地元の食材をPRしたほか、50人が一度に入れる巨大足湯やジャズオーケストラの演奏、芸妓衆による踊り披露なども行われ、来場者は下呂温泉の秋のひと時を満喫していた。

同組合の村瀬事務局長は「本イベントは秋の目玉行事として、参加者にも高評価をいただいております、今後も継続して開催していきたい」と話していた。



飛騨牛を豪快に焼く様子

「はしまdeマルシェ」に2組合が出展

岐阜県毛織工業協同組合（岩田考司理事長）・岐阜県石油商業協同組合（澤田栄理事長）

岐阜県毛織工業協同組合と岐阜県石油商業協同組合 羽島支部は、10月27日に羽島市のコスモパーク羽島・不二羽島文化センターで開催された「はしまdeマルシェ」に協力出展した。

『はしまdeマルシェ』（主催:羽島市、羽島市観光協会）は、毛織物（ウール）の一大産地である尾州地域（愛知県一宮市、岐阜県羽島市など）を観光産業としてPRする『ひつじサミット尾州』に関連したイベントで、地元企業などがワークショップやフリーマーケットなどを出展。

岐阜県毛織工業協同組合は、好みの生地を選んでバッジを作る「テキスタイル缶バッジ作り」、ウールや羊にまつわるクイズ「天才「ひつじ」クイズ」を実施。組合の山田幸士専務理事とテキスタイルデザイナーで「はしまマスター」でもある岩田善之副理事長は、「制作体験やクイズを通して、たくさんの親子にこの地域の産業を知ってもらい、毛織物産業を楽しく学んでもらえたと思う。」と話した。

また、岐阜県石油商業協同組合 羽島支部は、「ガソリン満タンで安心運動&お楽しみ抽選会」を実施。ブースでは、「防災をもっと日常に」をテーマに携帯トイレ等の防災グッズも展示。羽島支部の岩田元支部長は「早めのガソリン満タン給油は、防災グッズを備えておくことと同じで災害時の安心につながる。この機会に災害時への備えに対する関心がより高まれば」と期待していた。



「天才「ひつじ」クイズ」の様子



ガソリン満タン安心運動・お楽しみ抽選会の様子

組合まつり in TOKYOへ出展

岐阜県染色工業協同組合（青木秀益理事長）・美濃和紙ブランド協同組合（鈴木竹久理事長）

岐阜県染色工業協同組合、美濃和紙ブランド協同組合が、10月30日～31日に東京国際フォーラムで開催された「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典!～」に出展した。

「組合まつり in TOKYO」は、東京都中小企業団体中央会が主催し、「中小企業受注拡大プロジェクト」の一環として、東京と全国の中小企業組合が大集結するイベントである。

岐阜県染色工業協同組合は、「染められないものはない!!」を、美濃和紙ブランド協同組合は、「古来と未来をつなぐブランド「美濃和紙」」をキャッチコピーに、製品販売や技術等のPRを行った。

なお、本会も同イベントに出展しており、岐阜の伝統産業や観光資源のPRを行った。



岐阜県染色工業（協）のブース



美濃和紙ブランド（協）のブース

陶磁器関連組合が東濃各地でイベント実施

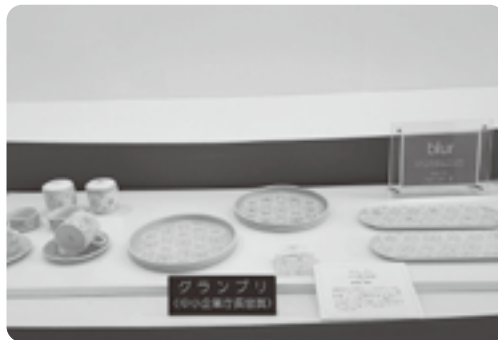
東濃各地では陶磁器関連の組合がイベントを行った。

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会は10月5日から7日に多治見市東町のセラミックパークMINOで「2024美濃焼新作展示会」を開催した。美濃焼の技術力、デザイン力等を高め、需要開拓につなげるために毎年開催しているもので、連合会単組12組合の組合員から24社、52作品が出展された。グランプリの中小企業庁長官賞には(株)東産工業所(土岐市駄知町)の「blur(ブルー)」が、この他、準グランプリの経済産業省製造産業局長賞には(有)ヤマナカ製陶の「氷襲(こおりがさね)二重構造タンブラー」が、準グランプリの中部経済産業局長賞には丸健製陶(株)の「PITCHBLACK(漆風の食器)」が、岐阜県中央会会長賞には市原製陶(株)(瑞浪市土岐町)の「カラスウリ」が選ばれた。

10月13日・14日には、多治見美濃焼卸センター協同組合が、「第81回たじみ陶器まつり」を開催。41社のテントとクラフトマン通りに60のテントが団地の各通りに並び、通常より手ごろな価格で食器を販売した。

また、土岐市では今年、10月26・27日に、市内各地で行われていた陶器祭りを、同日に統一の祭りとして開催した。協同組合土岐美濃

焼卸センターが、織部ヒルズで「織部ヒルズ陶器市(オータムフェア)」を開催。下石陶磁器工業協同組合が、下石町のとっくりグラウンドをメインに窯元めぐりを行う「どえらあええ陶器祭り」を開催した。とっくりグラウンドでは、今回初の取り組みで車中泊のイベントも行われ、4グループが参加した。土岐市役所駐車場では、「うつわさがし」メイン会場として各種テントを並べ「MINI TOKI」を秋の美濃焼まつり実行委員会が行い、全5地域を結ぶイベントを実施していた。



美濃焼新作展示会 中小企業庁長官賞



たじみ陶器まつり



うつわさがしメイン会場(土岐市役所)



どえらあええ陶器祭り

岐阜県可児工業団地(協) 総務省の「地域デジタル基盤活用推進事業(実証事業)」に採択

岐阜県可児工業団地協同組合(山口正裕理事長)

岐阜県可児工業団地協同組合は、本年7月に総務省の「地域デジタル基盤活用推進事業(実証事業)」に採択され、事業を実施している。

本事業は、総務省が「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、地方公共団体等によるデジタル技術を活用した地域課題解決の取り組みを総合的に支援するもので、組合では、実証件名を『BCP対応搬送ロボット・工業団地内サプライチェーン連携「スマート・インダストリアルパーク」実装に向けた実証』とし、工業団地内にローカル5Gの基地局を設置し、BCP対応ドローンの団地内自動飛行を実施し、平常時の搬送や災害時のBCP対応への実証実験等を行う。また、ローカル5Gの団地内組合員企業での共同利用の検証も行っていく。

組合では、本事業を通して、ローカル5Gの活用により組合員企業の付加価値を高めるとともに、若者に魅力を感じられる工業団地(スマート・インダストリアルパーク)を目指している。なお、本事業の事業協同組合への採択は、全国初となる。



全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和5年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひご活用ください。「組合事例検索システム」<https://www.chuokai.or.jp/index.php/jireisearch/>

大阪内装材料協同組合

取引先企業からエンドユーザー向けのPR 戦略への転換

主な業種	内装材料(襖・壁紙関係)の製造及び販売				
住所	〒530-0036 大阪府大阪市北区与力町1番5号 与力町パークビル4階				
URL	https://osaka-naisou.or.jp				
設立	昭和38年12月	組合員	29人	出資金	8,100千円

■ 背景・目的

内装材料の業界では、内装における和文化の取入れや和室設置の減少により襖の使用機会が減少、壁紙に関しては低価格商品が浸透するなか商品の機能・品種・デザイン等をPRし、需要喚起(プチリフォーム)を勧めることで商品認知度の向上と張替えの促進を図る。

■ 取り組みの手法と内容

大型商業施設(イオンモール大阪ドームシティ)の催事スペースにおいて襖・壁紙の大型ハンガーサンプルを展示し、来場者に手に取って見てもらうイベントを実施した。以前より組合員構成から「B to B」における情報収集と発信は実施していたが、「B to C」に対する情報収集と発信を行うことで商品展開案のヒントが得られ、組合にとって今後のPR活動の軸が明確になった。

活動準備として、襖の日の設定(上部団体への働きかけによる)動画作成及びオリジナルキャラクター「家政婦のスマ」設定、オリジナルキャラクター着ぐるみ作成を行う。また、活動実施時にはイベント来場者のターゲットを家族連れとし、親が展示品の見学や相談をする間に子供は襖紙への落書きやブックカバー作り、クイズ等のコーナーで遊べるよう仕掛けた。

PR活動における意思決定プロセスは青年部→広報委員会→理事会であり、青年部の主体的な広報活動を親会がバックアップする方法で展開している。青年部は18名、組合員企業の2代目が中心となり既に事業継承しているケースも5組合員程度ある。また、当事業の中心人物である広報委員会の委員長は青年部に所属しており、これにより迅速な事業展開が可能となっている。

■ 成果とその要因

事業の成果として、アンケート調査における消費者(ファミリー層)の声からPRイベント実施における商品認知度向上への感触を得ることができ、各社における今後の広報活動や営業の一助になると考えられる。こうした意見は、今後メーカーに対する商品開発の基礎になると考えられ、メーカーに対しては組合員として、提案する機会が増加すると予想される。



着ぐるみを登場させての販促用ふすまポスター



PRイベントの様子

！ポイント！

当事業の中心人物である広報委員会の委員長は青年部に所属しており、これにより迅速な事業展開が可能となっていることが事業・活動実現のキーファクターとなっている。



県内中小企業主要業種の景気動向

(10月末調査)

中小企業団体情報連絡員70名の情報連絡票から

過去のものを含め、詳細のものは、中央会HP (<http://www.chuokai-gifu.or.jp/chuokai/report/report01.html>) に公開しております。

(I) 10月の特色

- ◆景況感DI値マイナス23 前月比5ポイントの悪化
～製造業の景況感DI値 前月比11ポイントの悪化～
- ◆主要5項目のDI値 前月比で改善
～売上高DI値マイナス3 前月比8ポイントの改善、
収益状況DI値マイナス29 前月比4ポイントの改善～
- ◆売上高・収益状況DI値は前月比で改善したが、原材料・資材価格の高騰や物価高、
人件費の上昇等に伴う価格転嫁が十分に進んでいないとの声が寄せられている
- ◆人手不足による生産活動へのマイナス影響を懸念するコメントもある

10月次景況	
項目	DI値
景況	-23 (-5)
売上高	-3 (8)
販売価格	26 (2)
収益状況	-29 (4)
資金繰り	-13 (3)
雇用人員	-11 (3)

カッコ内は前月比増減ポイント

製造業		前年同月比						
区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	乳	—	—	▲	—	—	—
		肉(国産)	—	—	—	—	—	—
	菓子	菓子	◎	◎	—	—	—	—
		米	▲	—	▲	—	—	▲
繊維・同製品	ニット工業	糸	▲	—	▲	—	—	▲
		毛織物	—	▲	—	—	—	—
	合成繊維織物	織物	—	◎	—	—	—	▲
		メンズアパレル	▲	◎	—	—	—	—
	婦人・子供服	縫製(既製服)	▲	▲	▲	—	▲	▲
		縫製(既製服)	▲	—	▲	▲	—	▲
木材・木製品	製材	材	—	—	—	—	—	—
		銘木	◎	◎	◎	—	—	—
	家具	東濃ひのき	◎	—	—	—	▲	—
		和紙	◎	◎	◎	—	—	◎
紙紙加工品	特殊紙	—	—	—	▲	—	▲	
	紙加工品	▲	—	▲	—	—	▲	
	印刷	印刷	◎	—	▲	▲	—	▲
化学ゴム	プラスチック	◎	—	▲	—	—	—	
窯業・土石	陶磁器(工業)	タイル	—	◎	—	—	—	—
		窯業原料	—	—	—	—	—	—
	石灰	生コンクリート	▲	◎	▲	—	▲	—
		砂利生産	—	—	—	—	—	—
	砕石生産	砕石	▲	—	—	—	—	—
		鉄鋼・金属	鋳物	—	—	—	—	—
一般機械	刃物等金属製品(輸出)	メッキ	◎	—	—	—	—	—
		刃物等金属製品(内需)	—	—	—	—	—	—
	県金属工業団地	可児工業団地	▲	◎	—	—	▲	▲
輸送用機器	輸送用機器	◎	—	—	—	—	◎	

非製造業		前年同月比						
区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	陶磁器産地卸	—	◎	—	—	—	—
		機械・工具販売	—	◎	—	—	—	—
		青果販売	▲	◎	▲	—	—	▲
小売業	水産物商業	家電機器販売	—	◎	—	—	—	—
		メガネ販売	—	—	—	—	—	—
	中古自動車販売	石油製品販売	◎	◎	—	—	▲	▲
		共同店舗(飛騨)	▲	—	▲	▲	—	—
	生花販売	岐阜市商店街	▲	—	▲	▲	—	▲
		大垣市商店街	—	◎	▲	—	—	—
	高山市商店街	自動車車体整備	◎	◎	◎	—	—	—
		長良川畔旅館	◎	◎	◎	—	—	—
サービス業	下呂温泉旅館	高山旅館	◎	◎	◎	◎	—	◎
		クリーニング	▲	—	▲	▲	—	▲
	広告美術	旅行業	▲	◎	▲	—	—	—
		理容・美容業	—	◎	—	—	—	—
建設業	土木(岐阜地区)	土木(飛騨地区)	◎	—	—	—	—	—
		建築設計	▲	—	—	—	—	—
	鉄構造物	電気工事	▲	▲	▲	▲	—	▲
		管設備工事	—	—	—	—	—	—
	木造建築	建築板金	◎	◎	▲	—	▲	▲
		室内装飾	▲	—	▲	▲	—	▲
		木造建築	—	—	—	—	—	—
	運輸業	貨物運送(岐阜地区)	軽運送	▲	—	▲	▲	—
貨物運送(県内)			◎	◎	—	—	—	—

凡例 ◎: [増加]、[上昇]、[好転]
 —: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]



秋の叙勲・褒章の表彰 おめでとうございます！

令和6年『秋の叙勲』『秋の褒章』の受賞者が発表されました。中央会関係者は以下のとおりです。

【旭日双光章】 伊藤 善男 氏(岐阜県長良川温泉旅館協同組合・理事長)

【旭日単光章】 吉村 敏博 氏(岐阜県環境整備事業協同組合・元副理事長)

【緑綬褒章】 ライン生コン株式会社(岐阜県中濃生コンクリート協同組合 理事長 企業)

【黄綬褒章】 荒川 晶一 氏 (岐阜県管設備工業協同組合・理事長)(中央会・理事)



可児市功労者表彰 おめでとうございます！

令和6年11月3日に可児市政の振興発展に特に顕著な功績のあった者として、本会会長が表彰されました。

【産業功労】 傍島 茂夫 氏(岐阜県可児工業団地協同組合・顧問)(中央会・会長)

中央会・新規採用のお知らせ

次のとおり事務局職員の新規採用を行いましたのでお知らせいたします。

○ 新規採用 林 将宏 (はやし まさひろ) / 企画振興部

DXについて知ろう

中央会では、中小企業・小規模事業者の皆様のDX導入推進を目的として「バックオフィス業務等DX導入支援事業」相談窓口を設置し、専門家による相談窓口対応や組合向けの啓発セミナー及び個別相談会の開催、バックオフィス業務に係るクラウドサービス等の導入支援を実施しています。

このコーナーでは、本事業の専門家である石井克成DXアドバイザーに毎号、バックオフィス業務等へのDX導入に関する情報提供を行っております。今年度は、石井アドバイザーが支援した過去の特徴的な事例をもとに、DXに取り組むにあたってのきっかけや方法についてご執筆いただきます。

今回から3回にわたって、実際に石井アドバイザーが過去に経験した失敗例をご紹介します。

【お問合せ窓口】TEL:058-277-1104

繁忙期に起きた悲劇！地酒システム導入の失敗事例

前回までに「伝統工芸事業者さんでエクセルを活用する」お話しをしました。今回から3回にわたって、地酒蔵元に勤めている時に経験したシステム導入の失敗例をご紹介します。

以前、岐阜県の地酒蔵元の一事業として展開していた、日本全国の地酒を日本全国に供給するという事業の責任者をしておりました。今回のお話しは、私がこの事業に携わることになった時の出来事です。



当時、この事業は伸び盛りで日々増加する注文への対応でスタッフ全員疲れ切っていました。そんな時に、新システムの導入が実施されていました。しかも、地酒の業界では一番の繁忙期である12月に。私が、この事業に携わったのはまさにこの時。スタッフ全員が目色を変えて、注文に対応している中、私はまずは業務の流れを覚えなければいけない、ということでスタッフの指示のもと、対応していました。そんな中、大変な出来事が起こります。

あるスタッフが、「売上金額がおかしい」と言い出したのです。当時、取り扱っていた商品のアイテム数は、約500。このうち、約200アイテムは在庫をもっていました。これらの商品に関するデータを2人の女性が管理し、1人の

男性が在庫管理及び商品の入出庫を管理しています。そして、一つの商品には最低でも4種類の価格が設定されて

いました。販売先毎にこれらの価格を使い分けなければいけません。

当然、システムに頼っているわけです。

例えば、お酒の小売店さんに対しては、「卸売価格」。問屋さんに対しては、「仕切価格」。蔵元からの仕入金額は「生産価格」。そして、一般消費者に対しては「小売価格」。

「大変な出来事」とは、この「販売先」と「価格」の関係性がグチャグチャになっていたのです。

問屋さんには「仕切価格」、小売店さんには「卸売価格」で行かなければいけないところ、ある問屋さんには「卸売価格」、ある小売店さんには「仕切価格」で売上が計上されていました。

これは、大問題です。

この事実気がついた時から、原因の追究が始まります。システムの担当者とともに、私も原因の追究に駆り出されました。

年も押し迫る中、毎日、夜中まで残業する日々が続きます。

当然、クリスマスなんて関係ありません。

新システムに一体何が起こっていたのでしょうか。



石井 克成 氏

雇用の問題お悩み解決のためのサポートをします!

早期退職を募らなくてはいけなくなりました。
従業員の次の就職先を見つけたい。

一時的に社員の仕事が
なくなってしまう。
そんな時どうすればいいの?

ハラスメント防止など社員教育に課題が
あり、セミナーの必要性は感じているが、
なかなか手が回らない。

採用って難しい。
一回二回の面接では判断できない。
当社に合う方を紹介してくれたら助かるのに。

他社ではどのように
取り組んでいるのか?
他社に出向してもらって、
広い視野を持ってもらい、
当社の業務改善につなげたい。

定年を迎える社員。
能力も高く経験も豊富なのに、
引退してしまうのはもったいない。
まだまだ社会に貢献できるのに。



安心のサポート

下記の都道府県事務所にお問い合わせ下さい

産業雇用安定センターとは?

1987年(昭和62年)、労働省(当時)、日経連、産業団体などが協力して、「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートします。

全国の労働局・
ハローワークと連携

全国47都道府県に
事務所を設置

相談・紹介・仲介・
斡旋の費用は無料

設立以来、
24万人の再就職・
出向の支援実績

1人の求職者に一人の
コンサルタントが
マンツーマンでサポート

産業雇用安定セン
ターが、詳しくわ
かる動画は、こち
らをご覧ください。



公益財団法人

産業雇用安定センター 岐阜事務所

www.sangyokoyo.or.jp

〒500-8163 岐阜市鶴舞町2-6-7 ワークプラザ岐阜3階

産業雇用

検索



TEL 058-246-7060 FAX 058-246-7062 【ご利用時間】9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

中央会の事業紹介

◆講習会開催のご案内



「育児・介護休業法の改正と事業者求められる対応」

「育児・介護休業法」が改正され令和7年4月1日に施行されます。この改正により、事業者には、子の年齢に応じた柔軟な働き方への措置拡充が求められることとなります。

具体的には、柔軟な働き方（始業時刻等の変更、テレワーク、新たな休暇の付与等）を2つ以上選択し措置するとともに労働者への個別周知と意向確認の義務化、所定外労働の制限（残業免除）の小学校就学前の子まで拡大、子の看護休暇の対象範囲の拡大、仕事と育児の両立に関する意向聴取・配慮の義務化などが改正内容となります。この改正

は、就業規則や育児介護休業規程の内容に影響を及ぼし変更が求められる内容となります。

本講習会では、育児・介護休業法の改正内容と改正に伴う事業者求められる対応について解説します。

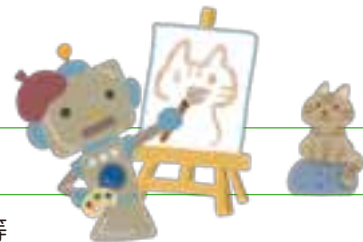
日時	令和6年12月12日(木) 14:00~15:30(1.5時間)
場所	ホテルグランヴェール岐阜 5階「飛翔」 (岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14 TEL:058-263-7111)
講師	社会保険労務士事務所 浅田屋 代表 吉岡 かわり 氏 (特定社会保険労務士)
内容	「育児・介護休業法の改正と事業者求められる対応」
定員	会場20名、オンライン20名 ※オンライン(Zoom)による同時配信を実施します
対象者	組合員企業の経営者、管理職、総務・人事担当者 等

◆生成AI活用セミナー開催のご案内

生成AIを自社の業務へ活用することは、大きなビジネスチャンス、業務効率化を図る可能性を秘めています。本セミナーでは、生成AIの基礎から最新の応用事例までを幅広くカバーします。

また、生成AIの導入に伴うリスク管理、体制構築、ルール整備等について専門家が詳しく解説します。

日時	令和6年12月17日(火) 14:00~16:00(2時間)
場所	ホテルグランヴェール岐阜 5階「飛翔」 (岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14 TEL:058-263-7111)
講師	渋谷 雄大(しばや たけひろ)氏 中小企業診断士 ジャイロ総合コンサルティング株式会社 代表取締役社長
内容	・生成AIの基礎と最新技術 ・ビジネスにおける生成AIの活用事例 ・生成AI導入のためのリスク管理と体制構築 ・生成AIと著作権問題の考察
定員	会場30名(先着順)
対象者	組合員企業の経営者、管理職、総務・人事担当者 等



詳細、申し込みは、本会HP(<http://www.chuokai-gifu.or.jp/chuokai/>)をご確認ください。

【お問合せ先】岐阜県中小企業団体中央会 企画振興部 TEL 058-277-1101